

主な行動報告 & 予定

- 1月** 鳩吹山登山（近年稀な完璧ご来光・大吉並みだが…）
- 市消防出初式（世界に類を見ない・貴重な生息団体）
- 自衛消防隊出初式（自ら守る！心意気のカタマリ）
- 光秀博覧会（NHKにあやかり市の宣伝活動全開）
- 成人式（大人へのジャンプ決意大会・がんばれー！）
- 全協（市長懇談・アールの長期経営計画策定要望）
- 広報広聴部会（高校生議会成功に向けて）
- 議員研修会（福知山の杉岡准教授に次の議会改革学ば）
- サロン・わらしべ落語会（歌、大道芸、漫談で満ブク）
- 東海環状道改良起工式（土岐～美濃加茂渋滞緩和策）
- 書家沢野晴風先生葬儀（功績筆舌に尽くせず・合掌）
- 米沢市議会来訪（ブーメラン効果を・議会改革懇切説明）
- 学校給食試食会（笑顔の学校に、笑顔の給食あり）

- 2月** 高校生議会（共に学び共に気付きのスパイラルやよし）
- 映画歎異抄（善人なおもって往生を遂ぐ、いわんや…）
- 観光経済部長面談（東部工業団地開発・説明は解った）
- 全協（地域防災力向上予算⇒防災力向上気運低下予算？）
- 本会議（年々細る予算の財布・選択と集中の限界に挑戦）
- 予算決算委員会（市民のお金で博打出来ない・慎重審議）

- 3月** 全協（新型コロナウイルス対策により諸行事中止）
- 小・中学校卒業式（自粛で来賓出席できず・残念の極み）
- 予算決算委員会（工業団地開発で市民サービス低下NO）
- 本会議（工業団地開発で市民サービス低下懸念付帯決議）
- 帷子地域包括支援センター開所（4月1日から利用可能）

- 予定** 第2回定例会開会5月29日
- 議会報告会未定

さかいまさし通信 まゆなかな



学校給食、皆で美味しくいただきました

ご挨拶



可児市 市議会議員
さかい 正司
座右の銘 広く遠くゆったり

国内の新
型コロナウイルス
流行は当初、早期収
束の根拠の無い淡い期
待がありました。が外れま
した。

動物界に存在するウイル
スが、ヒト社会へ逆襲のた
り。

め？変異する可能性を想定内と捉える必要があり
そうです。海外の医療崩壊の実状や検査体制の
有り方などを学習し、我が事として学び取る
べきだと感じています。

細心の気配りや行動で感染を阻止
し、健やかに過ごさうとす
ます様に。

委員会公質問

予算審議をする委員会です。主に次の様な発言をしました。

★「工業団地造成分譲事業について」

★総事業費47億円以上の巨費が絡む当議案審議には、十分な情報が必要。2019年からマザーマシン需要（産業の見通し指標とされる）が下降傾向。県の2017年資料では古過ぎる。直近の激動する国内外経済動向を加味すべきだ。

★1次分譲が不調の場合、2次分譲事業を凍結する考えは。1次2次分を一括購入希望が来たら工程を見直すのか。

★市財政がひっ迫傾向のなか、この事業遂行に伴う市民サービス費削減の懸念がある。

★空き家等対策費が増額した分で空き家を解消する数値目標は。

★岐阜医療科学大学生向けの空き家活用策は。

★道路維持費が年々減少している。予算不足のしわ寄せで道路状況が悪化するのでは。

★毎年約8千人の市民が来場する、健康フェアをアール改修工事で中止するのは安易すぎないか。開催場所や日にちの複数化など、市民の期待に応える検討をしたのか。

★広陵中学校に外国籍児童の専用教室「第2ばら教室」開校の詳細は。

★アール使用料を17年間改正せず、近隣の市と比較して格安になったのは何故。

★アール使用料を今後5年毎に見直すのは評価するが、今回の激変緩和処置は何時正常化するのか。

●ロハス(LOHAS)の窓●

フイードロス

小学校の給食に招待されて、児童達と一緒におしゃべりしながら美味しく、楽しくいただきました。

多人数対象の給食では無駄が出やすいのでは、との考えが一瞬よぎりましたが全く杞憂で、元気な子供達がお代わりしてキレイに食べ切りました。牛乳パックを開いて洗い、曇む手際も見事でしたヨ。



甘い香りのルチエンシス

知って得するマメ知識 <vol.48>

ひつじの毛のお話し



コロナウイルスには無理ですが

ウールには衛生面で他の繊維より優れた機能があります。

メリノウールはバクテリアを寄せ付けず悪臭を発生しないので、スポーツ、登山、旅行には有利です。また抗菌加工の必要がなくその弊害もありません。吸湿力はコットンの2倍、熱伝導性はナイロンの5分の1なので、断熱効果大、強い汗吸収力、汗冷えを抑えるので天然エアコンと言われます。

高齢者の拠り所

帷子地域包括支援センターが、とうとう病院から帷子地区センターに、ようやく移す事が出来ました。

帷子地区大型団地の高齢化率が50%に近づくにつれ、この移転は長年の悲願でした。

岐阜医療科学大学とも緊密に連携し、高齢者の諸課題に取り組み、多世代交流モデル地域にしたいものです。



帷子地区センターに移転した包括支援センター

編集後記